

## 8 学級詩集を作ろう

学級詩集であるからクラスの一員として全員が詩作しなければならない。J S Lの生徒たちも自分も作れそうだなと思い、詩作に興味をもってほしい。そして、できあがった作品をクラスの詩集として一冊の冊子にし、相互鑑賞を行うことによって、J S Lの生徒も含めて、お互いの理解を深める一助となればと思う。また、自分たちの書いたものが一冊の詩集という形あるものになることは、たとえ詩作は苦しくても、完成された詩集を手にした時、どの生徒の顔も喜びに輝き、友達の作品を読みふける。書いたものを形あるものにする意義がそこにある。

テーマは「朝」としたが、「ふうせん」「春」「冬」「15歳（中学三年生で）」等、いろいろ設定し取り組める。

1 領域 書くこと

2 教材 学級詩集

- 3 目標
- ・詩作に興味を持ち、自分も作ってみようとする態度を養う。
  - ・詩作しようとすることによって、ものを見る目や感じる心、考える力を育てる。
  - ・日常生活を見つめ、その中に感動を見い出し、表現する力を養う。
  - ・相互鑑賞を行うことによって、お互い認め合い、クラス集団としてつながり、共に高まっていこうとする姿勢を養う。

4 指導時間 5時間

5 指導形態 在籍学級（T T入り込み）

6 指導事項・言語スキル

領域	指導事項	言語スキル
書くこと	<p><b>【事柄や意見】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・詩の表現形式を知る。</li> <li>・課題からことばを集め、自分の気持ちを詩のかたちに表現する。</li> </ul> <p><b>【評価・批評】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・相互鑑賞をし、ことばの使い方等について自分の表現に役立てる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題を理解し、材料（ことば）を集めることができる。</li> <li>・ことばを集め、詩に表現することができる。</li> <li>・上手だなと思う表現について自分の表現に役立てることができる。</li> </ul>
言語事項	<p><b>【話や文、文章】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ジャンルによる文章構造、文体などの特性を理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・詩の表現形式について理解することができる。</li> </ul>

## 7 指導計画

	学習活動	伸ばしたい言語スキル	学習支援・指導・学習材
1 次  2 時 間	<p>○「朝」からイメージをふくらませ、連想したことばをもとに詩を作る。</p> <p><b>Step1</b> 「朝」から連想することばをたくさん書く。(順次発表→板書) 擬音語や擬態語も OK である。</p> <p><b>Step2</b> 連想したことばの中から詩にしようとすることばを選び、そのことばからさらに連想を広げる。</p> <p><b>Step3</b> 詩を作る。</p> <p><b>Step4</b> 作った詩を推敲し、さらにもっといいことばがないか考え、詩を完成させる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題から連想することばをたくさん集め、書く。</li> <li>・友達の意見を聞き参考にする。</li> <li>・集めたことばから自分の気持ちや考えをまとめる。</li> <li>・自分の気持ちを表現するのにもっといいことばがないか考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習プリントを用意する。</li> </ul> <p><b>個人学習</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>★対話しながら「朝」のイメージをふくらませ、ことばを引き出していく。</li> <li>・友達のことばもイメージをふくらませるきっかけとする。</li> <li>★表現活動の支援をする。</li> </ul>
	<p>○もう1度推敲する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・対句法や繰り返し法、比喩法、連等について思い起こし、推敲する。</li> </ul> <p>○清書する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・B4 コピー用紙四分の一に詩とカット図案を美しく配置する。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>★対句、繰り返し、比喩、連等について説明する。</li> </ul>
	【印刷】 授業時間外 (指導者)		
2 次  1 時 間	<p>○製本し、色鉛筆等を使い表紙を作る。</p> <p>表紙 クラスの仲間の詩 相互鑑賞カードのりづけ欄 詩集を手にして (感想を書く) 裏表紙</p>		
3 次  2 時 間	<p>○詩の相互鑑賞を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・相互鑑賞カードを書き、友達に渡す(交換する)。</li> <li>・もらった相互鑑賞カードをのりづけする。</li> </ul> <p>○詩集を手にしての感想を書く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友達の詩を鑑賞し、友達の気持ちや生活を知る。</li> <li>・友達の詩を鑑賞し、その内容を読みとり、自分の感想を文章に表す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>★クラスの友達と相互鑑賞がスムーズにいくよう支援(配慮)する。</li> <li>★友達の表現で上手だなと思うところを抜き出させる。</li> </ul>

## 相互鑑賞カード

さんへ	さんへ	さんへ
<p>あなたの詩を鑑賞して</p> <p>(</p> <p>(より</p>	<p>あなたの詩を鑑賞して</p> <p>(</p> <p>(より</p>	<p>あなたの詩を鑑賞して</p> <p>(</p> <p>(より</p>
さんへ	さんへ	さんへ
<p>あなたの詩を鑑賞して</p> <p>(</p> <p>(より</p>	<p>あなたの詩を鑑賞して</p> <p>(</p> <p>(より</p>	<p>あなたの詩を鑑賞して</p> <p>(</p> <p>(より</p>

